

# event news

2013年6月イベントのお知らせ

「初めての家づくり教室 (ハツイエセミナー)」  
 「キンカンの工作室 ミニチュア制作」  
 「SE 構法の家完成見学会 (下松市)」  
 の3つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16 ハツイエセミナー
17	18	19 キンカンの工作室 ミニチュア制作 教室	20	21	22 完成見学会 (下松市)	23 完成見学会 (下松市)
24	25	26	27	28	29	30

## 『初めての家づくり教室』

- 開催日：6月16日(日)
- 開催時間：午後2時～4時
- 場所：Gallery 様 (エヌテック事務所隣)
- 事前にご予約をお願い致します。

「家づくりでお悩みのあなたに！」  
 あなたが家づくりを始めるにあたって、是非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。  
 なぜこのセミナーをご紹介しますのかというと、家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔した」と感じている人が非常に多いからです。  
 このセミナーの一部を紹介すると

- ・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
- ・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
- ・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
- ・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
- ・まじめに家づくりをしている建設会社の選び方とは？



セミナーの様子

## 【イベントへのご参加方法】

事前のご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

- ・弊社ホームページのフォーム (URL <http://www.ntecj.co.jp/>)
- ・エヌテック代表メール (info@ntecj.co.jp)
- ・エヌテックへのお電話 (082-509-5771) 担当：佛崎 (ぶつざき)・松下まで

「ひろしま満点ママ!!」  
に出演

## 「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室を開催致します！

エヌテックのお客様で、ミニチュア作品の作家でもある「キンカンの工作室」さんと、「萩谷 幹」先生に直接手ほどきを受けながら、驚異のミニチュア制作を皆様に体験していただける事になりました。  
 この教室は、「ギャラリー様」にて毎月第3水曜日の午前10時～12時に開催します。第二回目の6月19日(水)は、「お好み焼き」を制作します。席に限りがあるので申込みはお早めをお願い致します！

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室  
 第二回：6月19日(水) 午前10時～12時  
 場所：Gallery「様」(エヌテック事務所横)  
 料金：2,500円/1名(材料代・講習料込)  
 制作品：お好み焼き  
 ※先着8名様限定です。  
 ※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。  
 ※当日制作した作品はお持ち帰りいただけます。



当日は、お好み焼きの制作作業を楽しんでいただきます。

### <7月の予告>

お子様向け教室として「かき氷」をつくります！



## 『SE 構法の家完成見学会』

- 開催日：6月22日(土)、23日(日)
- 開催時間：午前10時～午後4時
- 場所：山口県下松市生野屋4丁目

山口県にまたひとつ、エヌテックが設計施工を手掛けたお住まいが完成します。M様邸こと「Ginger House」は、SE構法により実現した5mスパンの風通しの良い大空間や、1,2階の南側開口面積が延べ床面積の20%以上を実現したパッシブソーラーの集熱手法など、夏涼しく、冬暖かく過ごすための工夫が満載のパッシブデザイン住宅です。夏至に近い見学会当日は、下のCGのように南中は直射日光が差し込まない設計になっていることも是非お確かめ下さい。



6月22日12時(前日が夏至)  
大きな開口の上にある庇で日射を遮っている様子がわかります



12月22日12時(冬至)  
寒い時期に十分に日射が差し込む様子がわかります

# 超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.05 JUN. 2013

株式会社エヌテック

〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7

TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772

E-mail:info@ntecj.co.jp

HP:http://www.ntecj.co.jp

## 超・快適への道「入浴編」2…お風呂のアレコレ!?

### 「お風呂 = 一年中使うお湯」

5月中旬になって、急に暑くなりましたね。衣替え前に服装はもう夏モードに入ったように感じます。  
 日中かいた汗を流すため、シャワーが一日中大活躍しているのではないのでしょうか。夏でもやっぱり、お湯を使ってシャワーを浴びたり、お湯に浸かったりされていることと思います。ところで、省エネを訴えるのが目的ではありませんが、シャワーの使用水量ってご存じでしょうか？平均すると、出しっ放しにして1分間に約20リットルとされています。5分間で約100リットル!?使っているということになりますね。キッチンや洗面で使うお湯はそう多くありません。浴槽に溜めるお湯を含めると、「お風呂」では一年を通してかなりのお湯を使っている

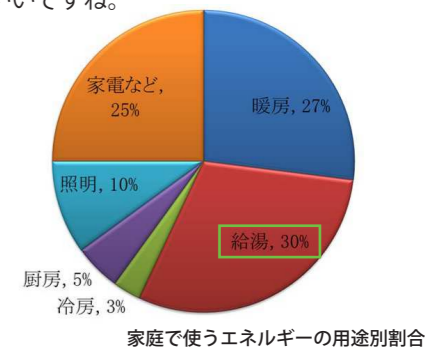
ことになります。

### 「お湯の作り方」

節水のことはまた別の機会として、お湯は通常、水を「給湯器」で沸かして使用します。エコキュートや電気温水器のような貯水式もあり、いずれも水を熱源で加熱してお湯を作ります。  
 エヌテックの家づくり教室では毎回お馴染みの「省エネ白書」によると、家庭で消費するエネルギーの約30%は給湯に関するものです。(ちなみに、冷房は約3%です。)暖房・冷房のように季節限定のエネルギーと違って、お湯は、ほぼ一年を通じて使いますので、何となく納得の数値でもありません。ただ、冷暖房と違って「快・不快」にダイレクトに影響するものでもない点が、節約意識に繋がりにくいのかもかもしれませんね。(水に関してはもったいないからと残り

湯をお洗濯に使われる方も多いかと思えます。)

そんな年中使う「お湯」を何のエネルギーを使って作るかは、家作りに際して大事な選択になります。お馴染みのガス、灯油、電気に加え、太陽熱もお湯をつくるのに使えます。エヌテックの一押しは「太陽熱」ですが、光熱費はもちろん、各ご家庭のライフスタイルに合った給湯エネルギーを選択される方がいいですね。



## 各種補助金情報が続々発表中です。

### 木材利用ポイント

地域材を活用した木造住宅の新築等、内装・外装の木質化工事、木材製品等の購入の際、木材利用ポイントを付与し、地域の農林水産品等と交換できる制度です。現在わかっているのは、主要構造部に地域材を用いた木造住宅には、最大で30万ポイント、内装・外装の木質化工事も最大で30万ポイントが受けられます。昨年の住宅エコポイントに似た補助制度です。

### 平成25年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業

高断熱性能、高性能設備機器と制御機構等との組み合わせによるゼロエネシステムの導入により、年間の一次エネルギー消費量がネットでも概ねゼロとなる新築及び既築の住宅に対して、補助対象費用の1/2以内(補助限度額一戸あたり350万円)を支援する制度。

※いずれも現在詳細内容の発表待ちです。エヌテック HP や facebook ページで随時情報発信してまいります。

### 平成25年度住宅のゼロ・エネルギー化推進事業

住宅の躯体・設備の省エネ性能の向上、再生可能エネルギーの活用等により、年間での一次エネルギー消費量がネットでも概ねゼロになる新築及び既築の住宅に対して、補助対象費用の1/2以内(補助限度額一戸あたり165万円)を支援する制度。



# My Topics

## エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

### 『大工さんとのこだわり』

土井長元気

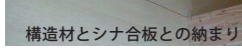
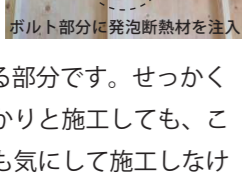
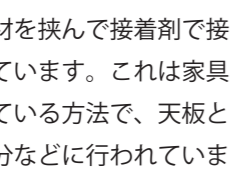
工務部の土井長です。今回はエヌテックの現場に入らせていただいている大工の方の仕事をご紹介します。



右の写真は、大きな掃き出し窓が並ぶ所の鴨居（窓の上枠）の継ぎ目部分です。エヌテックでは、窓枠に無垢材を使用するので木材の反りや曲がりの為、継ぎ目部分に段差が出来てしまう場合があります。そこで、窓枠の接合面の切り込みに木材を挟んで接着剤で接合する方法を採用しています。これは家具を作る時によく行っている方法で、天板と天板のジョイント部分などに行われています。



次に右の写真ですが、こちらは、構造材のボルト取付けを行った部分です。外部と内部をまたがったボルトは『熱橋』になる部分です。せっかく内部の断熱材をしっかりと施工しても、こういった細かい部分も気にして施工しなければ内部結露にも繋がる可能性があります。最後は、大工仕事の見せ場、内装のシナ合板貼りについて。現在工事中の現場では、勾配天井があり



構造材の母屋や火打ち梁との取り合い部分や、全体の仕上がり具合（合板の割付け方）も考えながら、見栄え良く美しくシナ合板を貼るために、現場ではいろいろと検討を重ねます。そうして出来上がった姿を見ると、シナ合板のジョイントも少なく、一番綺麗な納まりで施工されています。

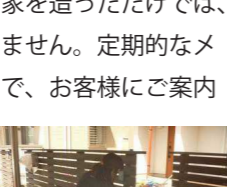
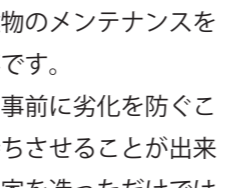
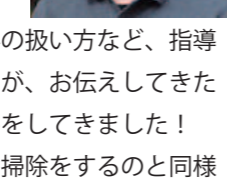
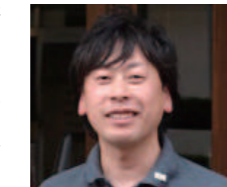
このように、仕上がってしまえば、なかなか気付かない部分ばかりですが、毎回『職人』を感じています。



### 『外部木部の塗装メンテナンス』

佛崎浩平

お客様サポートの佛崎です。先日、今年で5年目を迎えるお住まいに伺い、お客様へ屋外の木部メンテナンスとして、塗り方や、塗料の扱い方など、指導という程ではないですが、お伝えしてきました！と共に、少しお手伝いをしてきました！住まい手様が日常、お掃除をするのと同様に、出来ることから建物のメンテナンスをすることはとても大事です。愛着が湧くとともに、事前に劣化を防ぐことができ、木部を長持ちさせることが出来ます。最初にきちんと家を造っただけでは、長持ちする家とはなりません。定期的なメンテナンスを行うことで、お客様にご案内出来るよう一層、定期点検の質を上げていきたいと思



### 『中村好文展 小屋においでよ！』

谷口護

設計担当の谷口です。6月中旬、「パッシブデザイン未来会議 2013」に出席するため、東京へ行ってきました。その際、乃木坂にある TOTO ギャラリー間で開催中の「中村好文展 小屋においでよ！」を見学してきたので、そのお話を少し。中村好文氏は、1948 年生まれの建築家で、その仕事のほとんどが住宅と家具デザインです。広島からだと、愛媛県松山市にある伊丹十三記念館が中村さんの設計ですので、道後温泉とセットでの観光がオススメです！私も昨年、同記念館を訪れ、建物の雰囲気はもちろん、展示方法に至るまで繊細に設計されている事に大変驚きました。残念ながら中村さんが設計された住宅を実際に見る機会は今までは無かったのですが、今回の展覧会では、会場の中庭に、展覧会用に設計した実物大の小屋が建てられているとの情報を入手し、ワクワクしながら会場へ足を運びました。



3m×4mの小屋には、キッチン・トイレ・シャワーもあり、ベットになるソファや薪ストーブ、小屋裏収納まで備えられていました。外壁は藁の跡がそのままの唐松古材（45年モノ！）が貼られ、極までしっかりデザインされています。



展覧会会場では、この小屋の制作風景の映像や手書きの図面も展示してあり、ついつい食い入るように見てしまいました。住宅作家として、住まい手が楽しく暮らせる設えをユーモラスに展開してあり、私もとても刺激を受けた展覧会でした。

### 『あぐりくらぶ 2013 が 始まりました』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。今年も5年目を迎えた「エヌテックあぐりくらぶ」の第一回目となる「田植え」を島根県の柿木村で行いました。ご参加頂きましたお客様ありがとうございます。そしてお疲れさまでした。残念ながら天候には恵まれず、雨が降りしきる中での作業となってしまいましたが、いつもお世話になっている地元農家の三浦さんから「上手に植えるようになりましたね！」とお褒めの言葉をもらうほど、効率よく田植え作業は進みました。そして田植えをする大人の横で、子供達はイモリ狩りに奮闘！「イモリくらぶ」が開催されました。



田んぼに入るのを楽しんでくれるだけで開催して良かったなと思います。三浦さんも「楽しそうに作業をしてくれるのがとても嬉しい。」とおっしゃっていました。本当に貴重で大切な体験だと思います。午前中の田植え作業も無事に終わり、昼食は、ご参加の皆様お待ちかねの榊ガルトンでの食事です。ガルトンのスタッフの方々には、いつも地場で採れた新鮮な食材がたくさん並んだ美味しい食事をご用意いただいております。こんな料理を食べれば、作業後の疲れも飛んでいき、大人はビールやワインを囲みくつろぎの時を過ごし、子どもはその場で思いついたオリジナルの遊びで楽しく過ごしていました。

雨というアクシデントはありましたが、今年一回目となる田植えは無事終了。次回は6月23日（日）に「草取り」を開催します。次は晴れることを願うばかりです…。

榊ガルトンは、島根の工務店「リンケン」さんが経営する柿木村にあるカフェです。週末のみオープンしていますので事前の電話確認をお勧め致します。 TEL：0856-79-2600



榊ガルトンの美味しい昼食

### 今月のすてき、快適！

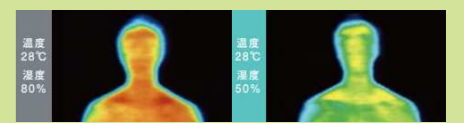
設計チーフ 松下 陽子



### ダイキン工業株式会社 「デシカホームエア」

春が過ぎて暑さが徐々に高まってくると、同じく湿度が気になる頃ですね。特に梅雨時期は「湿気と暑さ」のダブルパンチで悩ましい季節です。多種多様な手法がある「暖房機器」と違って「冷房機器」は、エアコン（クーラー）か扇風機しか選択肢がありません。（簾などは日射遮蔽物です。）室温を下げる設備としての冷房しかありませんでしたが、“うるるとさらら”で有名なダイキン工業から“除湿”で体感温度を下げたり上げたりする設備「デシカホームエア」が発売されました。猛暑の最中でも湿度が下がれば体感温度

が下がって快適性が高まることはよく知られています。（冬は加湿で体感温度アップ。）つまり、猛暑でも湿度を下げてやればカラリとするため、快適性はより高まるのに、冷房使用量が減らせるわけです。「デシカホームエア」は基本的には換気設備であってエアコン（空調）ではありませんが、冷房や蒸し暑さが苦手な方には、要チェックだと思いますよ！



室温が同じ 28℃でも、湿度が低いと体感温度は涼しく感じられます。（デシカ HP より）

[http://www.daikinaircon.com/news/2012\\_new\\_homeDESICA/](http://www.daikinaircon.com/news/2012_new_homeDESICA/)

### 快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



### 「断熱は重要…だけど③」

前回までで断熱の重要性については少しはご理解いただけたと思います。難しい話になりますが断熱性能を示す数値は熱損失係数（Q 値）で表します。この数値が低いほど高い断熱性能を備えていることとなります。ちなみに住宅における断熱性能は「次世代省エネルギー基準」という指標があり国はこれを推奨しています。北海道では「1.2W/㎡・K」以下、東北地方では「1.6W/㎡・K」以下、広島では「2.7W/㎡・K」以下が望ましく、これから新築する住宅はこの基準を守り快適でありつつ省エネに寄与できるお住まいを普及しようと指導してきたわけです。しかしながらこの基準は 1999 年に創られました。昨年やっこの基準をク

リアして新築された住宅はわずかに約5割強に留まっています。未だ約半数の住宅は断熱性能が非常に低いのが現状なのです。しかし、この性能が大変重要であると気づいた作り手（ハウスメーカーや工務店）は広島でも熱損失係数（Q 値）を「1.0W/㎡・K」を実現しようとしています。そして実際に建っているようです。「1.0W/㎡・K」の住宅は冬には熱が逃げにくく快適な暖かさが長時間持続可能です。少しの暖房で住まいの中がどこに行っても温度差が少なく寒さをあまり感じないことでしょう。次は夏季日射取得係数（μ 値）についてです。広島では「0.07」以下が望ましいと次世代省エネルギー基準で定められています。私感ですが熱損失係数（Q 値）が「2.0W/㎡・K」の住宅では夏季日射取得係数（μ 値）が 0.035 以下、「1.0W/㎡・K」の住宅では限りなく 0 に近づけていかないと冬は天国、夏は地獄のお住まいになりかねません。詳しくは次回に。